JForest

森林組合だより

令和４年１月１日
発　行
第 137 号

令和4年 新年号

本荘由利森林組合
由利本荘市水林381
ＴＥＬ 0184-24-4141㈹　　ＦＡＸ 0184-24-4143
HP http://www.honmori.com/　メール honmori@trad.ocn.ne.jp

新年のごあいさつ

代表理事組合長　小　松　佳　和

令和４年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。組合員の皆様には、穏やかに清々しい新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。又、平素は組合の業務運営全般にわたり組合員はじめ、関係機関の皆様から格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、未だ衰えず、県内でも感染拡大し行動抑制がなされました。さらに、ＷＨＯ（世界保健機関）が指定した新たな変異株、オミクロン株が拡散する中、日本でも感染拡大が懸念されております。

感染拡大の中、大国の木材需要拡大や、海上輸送用コンテナ不足による流通機能の低下が日本への外材供給の減少となり「ウッドショック」が発生しました。

又、残念ながら九州や中国、東海地方等で集中豪雨が発生し、大規模な災害が引き起こされ、特に静岡県熱海市では土石流により多数の死傷者が発生しました。

このような中で、昨年６月には新たな森林・林業基本計画が閣議決定され、森林を適正に管理し、林業・木材産業を持続的に成長発展させ、社会経済向上と、カーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」の実現を目指すこととされました。

11月には、ＣＯＰ26がイギリスで開催され、石炭火力「段階的な削減」で合意、産業革命後の気温上昇マイナス１．５度に抑制追求も明記されました。

戦後造林した人工林は、本格的な利用期に達していますが、多くの森林資源において主伐・再造林の循環利用が急務です。また、間伐等の適切な森林整備が行われていない箇所の整備も必要です。

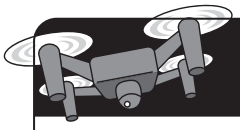
このため、豊かな森林資源を活用して、安定的・効率的な国産材供給体制の構築を目指し、木造化推進等による国産材の更なる需要拡大を実現させることにより、地域を活気づける「林業の成長産業化」を強力に推進していくことが不可欠であります。

結びに、役職員一体となり組合員の皆様や関係機関のご理解を頂きながら、経営基盤の強化と改善に努め、管内林業の振興と発展に邁進する覚悟でございますので、本年も一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとって希望に満ちた飛躍の年となりますように御祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

謹賀新年

代表理事組合長　小松佳和
副組合長理事　佐々木法夫
副組合長理事　鈴木充
理事　浅田照信
理事　小笠原俊彦
理事　佐藤勉
理事　工藤喜作
理事　小松幸夫
理事　小番勲
理事　三浦功
理事　熊谷典夫
理事　佐藤健一
理事　鈴木敏規
理事　伊藤修二
理事　佐藤勝榮
理事　眞坂平通
理事　齋藤惣一郎
理事　板垣正昭
理事　佐藤衛
理事　初瀬東一
代表監事　加藤進
監事　佐藤憲一
監事　村上佐左衛門
外　職員一同



ドローン体験会に参加！

10月29日（金）、秋田県由利地域振興局農林部森づくり推進課主催のドローン操作体験会に参加し、林業でのドローン活用を検討しました。当組合からは7名の職員が参加し、いくつかのドローンの操作体験をさせていただきましたが、想像以上に機敏に動くために操縦者の反応が追いつかず、操作に混乱する場面も見受けられました。航空法上の規制もあるためできることに限りはありますが、上空からの現場の撮影や大型化すれば物資の運搬も可能になることも考えられるので、我々も様々なアイデアを出して、最新技術を取り入れた新たな仕事の仕方を模索する必要性を強く感じました。

ドローンのカメラで撮影された上空からの写真。高解像度かつブレも少ない

コントローラーに付属の画面かスマートフォンでドローンのカメラ映像がリアルタイムで確認できる

第27回 労働安全衛生大会

第27回労働安全衛生大会が12月10日（金）に本荘グランドホテルを会場に開催されました。毎年開催されるこの大会は、安全に対する意識をより高めるために、職員・技能班を対象に開かれています。

大会では、安全講話を行い、優良運転者への表彰、代表職員による安全宣言を行って、労働災害ゼロを誓いました。

安全講話では、林材業労働災害防止協会秋田県支部事務局長の佐藤博氏を講師としてお招きし、「秋田県における林材業の現況と労働災害の防止に向けて」と題して、ご講演いただきました。

林業の現況と労働災害の防止に
防止協会秋田県支部　事務局長　佐

～ 優良運転者表彰 ～

■無事故無違反

25年	小野 達也	（造林課職員）
20年	須田 渉	（林販課技能職員）
	佐々木 堅一	（林販課技能職員）
	佐藤 茂一	（加工課技能職員）
15年	工藤 尚	（加工課技能職員）
	小松 卓哉	（造林課技能職員）
	猪股 尚弥	（造林課職員）
	伊藤 徹	（岩城支所職員）
10年	田口 孝志	（林販課技能職員）
	佐藤 広茂	（由利支所職員）

【大会宣言】　林産班　斉藤　一樹

私達は、安全管理の重要性及び労働災害防止活動を確認し、本大会の開催を契機に無事故・無災害の決意を新たに、災害防止対策を全力で取り組む事をここに宣言致します。

向き合おう
心と体の 健康管理

事
止協会秋田県支部　事務局長

第65回 秋田県森林組合大会

令和3年11月16日（火）「秋田テルサ」（秋田市御所野）において、第65回秋田県森林組合大会が開催されました。

県内の12組合の役職員の他、秋田県副知事、東北森林管理局長、秋田県議会副議長、森林・林業・林産業活性化推進議員の会会長、農林中央金庫秋田支店長等の御来賓及び多くの林業関係者が出席しました。

大会は県森連副会長を務める小松組合長の宣言で開会し、佐藤重芳県森連会長の挨拶に続き、御来賓のご祝辞とご祝電が披露されました。大会では、森林資源の循環利用と適切な管理の推進、県産材供給拡大に向けた対策の推進及び森林組合系統再造林550運動の展開に取り組むことを誓いました。

さらに今年度は、優良組合の事例発表ということで前回大会にて再造林推進優秀組合として表彰された当組合の取り組みについて発表させていただき、これをきっかけに全国的にこの取り組みが広がり、組合員含め森林所有者の皆様が積極的に再造林を行うことができる環境を整備していきたいと考えています。

◆優良森林組合
農林中央金庫秋田支店長賞
本荘由利森林組合

◆林業功労者
秋田県森林組合連合会会長賞
荘司範彦（仁賀保）

◆役員永年功労者
秋田県森林組合連合会会長賞
【25年表彰】
佐藤健一（本荘）

◆職員永年勤続者
秋田県森林組合連合会会長賞
【30年表彰】
岡本真貴子（造林課）
阿部久（林産販売課）
武田一也（造林課）
武田恵（矢島支所）

◆優良現場技能者
秋田県森林組合連合会会長賞
植野雄一（林産販売課）

事例発表概要

第64回大会再造林推進優秀組合を受賞した当組合の再造林の取組について「本荘由利森林組合における皆伐再造林推進の取組について」と題し、京野造林課主事及び本間総務課主事が全県の森林組合の前で発表いたしました。

発表の要点は、様々な要因から森林経営に意欲を失っている所有者に対し、ＩＣＴ技術や機械化技術等の最新技術を駆使して、造林費用を軽減し、利益を生む山づくりをしていきましょう！というものですが、再造林を進めていくためには、我々の今後の仕事の仕方はもちろん、所有者の協力が必要不可欠ですので、より一層組合員の皆様に寄り添った事業の展開をしていかなければならないと思っております。

この発表をきっかけに、全県の各森林組合が様々な角度から再造林を推し進める方策を展開し、県内全体ひいては国内全体で再造林の輪が広がっていけば幸いです。

【決　議】

本県の森林は、戦後造成されたスギ人工林の過半が本格的な利用期を迎えており、これらの森林資源を有効かつ持続可能な形で利用することが重要な課題である。

しかし、木材需要が低迷して推移してきた中で、森林所有者の経営意欲は低減しており、主伐後の再造林や間伐などの森林整備が進まない箇所が多数見られ、地球温暖化防止、国土保全など森林の有する公益的機能の発揮に重大な支障を来している。

また、近年の集中豪雨や台風等の度重なる災害により、大規模な山腹崩壊、林道等の崩落、風倒木によるライフラインへの二次的被害等が発生していることを踏まえ、災害に強い健全な森林づくりによる「緑の国土強靭化」を一層強力に推進していかなければならない。

一方、コロナ禍による経済低迷からの回復が進んでいる、アメリカや中国での需要拡大等により、日本への外材供給の減少と価格高騰が発生し、この影響で国産材需要が急拡大している状況である。

これを契機として、これまでの外材依存から国産材主体への需給転換を確固たるものにするべく、森林施業の集積・集約化を進めるとともに、素材の供給体制を強化し、山村地域の活性化を図る「林業の成長産業化」を実現することが重要である。

このような状況の中、新たな森林・林業基本計画が閣議決定され、森林を適正に管理して、林業・木材産業を持続的に成長発展させ、カーボンニュートラルにも寄与する「グリーン成長」の実現を目指すこととなったが、森林組合系統としても、県民や組合員の信頼を受け、地域の森林施業や経営の担い手としての責務を果たしていくことが不可欠である。

このため、新たな系統運動方針を策定し、県内約3万人の組合員とともに系統一丸となって、再造林の推進による資源の循環利用と適切な経営管理の推進、人材の確保・育成等により、森林・林業の持続的な発展に取り組む決意である。特に、再造林については着実な推進を図るため、具体的な系統の運動名及び目標を設定して取り組むこととする。

本日ここに、秋田県、東北森林管理局、秋田県市長会、秋田県町村会、農林中央金庫秋田支店の後援のもと、第65回秋田県森林組合大会を開催し、次の事項の実現に森林組合系統の総力をあげて邁進するものである。

一、森林資源の循環利用と適切な管理の推進

二、県産材供給拡大に向けた対策の推進

三、森林組合系統再造林５５０運動の展開
（５年間で再造林50％を目指す）

以上決議する。

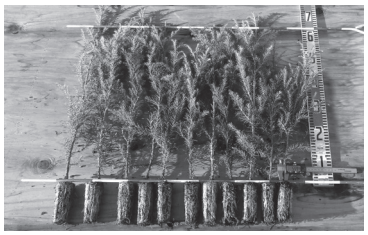
令和三年十一月十六日
第六十五回秋田県森林組合大会

情報コーナー mini

今回は、低コスト再造林の際に使用されることが多くなった「コンテナ苗」についてご紹介したいと思います。

林業用の苗木としては苗畑で3年ほど育てた「裸苗」という根がむき出しになっているものが一般的でしたが、このコンテナ苗は、特殊な形のコンテナ容器を使って育てた根鉢付きの苗木のことで、苗木の単価は裸苗と比較して高くなりますが、根付きがよく初期成長も速いため真夏や土の凍結する時期以外であればいつでも植えることができるため北欧などでは広く普及しています。

単価が上がるのに低コスト化とはどういうことか。と思われるかもしれませんが、従来の裸苗の場合は、植栽における作業が長時間かかり植え付け効率が悪かったため経費が掛かり増しになっていました。しかしコンテナ苗にすることで植栽作業が大幅に簡略化され、裸苗では1日で1人当たり２００～２５０本植えるのが精一杯でしたが、コンテナ苗では３００～４００本植えられるようになり、再造林のトータルコストとしては大きくコスト削減できるようになります。


コンテナ苗

裸苗

コンテナ苗の場合は専用器具で一度穴あけをするだけで植えることができる。

木材市況情報（令和3年）

単位：円、上段（石当り価格）
下段㎥当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	12月2日 本荘由利木材流通センター 高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14下	(2, 550) 9, 180	(2, 550) 9, 180	(2, 550) 9, 180
		16～22	(4, 340) 15, 624	(3, 829) 13, 785	(4, 271) 15, 377
		24～34	(4, 758) 17, 129	(4, 008) 14, 429	(4, 725) 17, 010
出材量・販売量・販売率			344㎥(1,238石)・333㎥(1,198石)・96％		

12月：相変わらず強い引き合いで36cm上の曲材以外は完売。先月よりもやや強含みとなり、旺盛な製品の引き合いで原木も高い。常連勢の手当が入ったが各社とも僅差の競り合いでもうしばらくこの原木高は続きそう。

㈱森林環境リアライズ林業労働対策事業 林業労働安全衛生に関する研修会

11月12日（金）、林野庁が主催し、㈱森林環境リアライズが実施している林業労働力強化対策事業で購入させていただいた安全衛生装備・装置の正しい使用方法を学ぶための研修会を開催いたしました。

この事業は、安全で衛生的な職場づくりを通じた林業労働力の確保に向けた取り組みを支援するため、体質強化計画に参画する経営体等を対象に、安全衛生装備・装置の導入と研修にかかる経費の50％を補助するもので、当組合では第3次公募に申し込み、「ヘルメット」、「担架」、「空調服」、「レインスーツ」、「自動体外式除細動器（AED）」等を購入いたしました。

研修会当日は、秋田マッカラー㈱様より空調服の使用方法や防護服の管理方法等をご説明いただき、特に防護服は毎日洗って使用しなければ本来の機能を発揮できないことを教えていただきました。

今回の事業のおかげで安全衛生に十分配慮された作業環境が構築されましたが、装備が整ったとしても職員自身が意識して安全に配慮した作業を心がけなければ、真に安全な職場づくりは成し得ないと思っておりますので、今回の事業をきっかけに、職員全体に安全衛生に関する教育をさらに徹底して、事故やけがのない安心安全な職場をつくっていきたいと考えております。

年末年始休業のお知らせ

12月31日(金)～1月5日(水)

1月6日（木）より通常営業となります。

※年末年始休業に伴うにかほ市役所金浦庁舎閉鎖の都合上、仁賀保支所も12月29日より事務所閉鎖となります。支所職員は木材流通センターで勤務しておりますので、29日・30日に仁賀保支所に御用の際は、そちらへお問い合わせください。

森林組合だより　令和四年年一月一日発行　印刷・㈲由利印刷

木材流通センター　由利本荘市西目町沼田字新道下1019-1　TEL0184-32-1088　FAX0184-32-1089
製材工場『木香里』　由利本荘市西目町沼田字新道下1020-1　TEL0184-32-1080　FAX0184-32-1081